



進路だより

令和3年12月20日発行 文責 進路指導主事 古賀 基樹



【施設見学】7/26・27

今年度の施設見学は、9月に計画していた保護者対象の「久留米コース」（「田主丸一麦寮」と「おひさま」）は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、やむを得なく中止しましたが、7月計画にしていた「久留米コース」と「大野城・春日コース」の2回は感染対策を行った上で実施することができました。（進路指導主事 古賀）

■7/26 久留米コース

保護者4名と職員7名が参加しました。「障がい者支援施設 ウエルフェアマリア」（上津町）では、新型コロナウイルス感染症感染対策のため、施設内の見学できず残念でしたが、本校卒業生で現在通所の生活介護を利用している甲木翔子さんから話を聞くことができました。甲木さんからは、1人暮らしのことや相談支援専門員のことなども含めて幅広い内容で話をしてもらいました。「就労継続支援 A型藍」（通東町）では、事業所全体（他にも、「有限会社 Taka.Co」は就労継続支援 B型やグループホーム、訪問看護など多数のサービスを提供しています。）の説明を聞き、「藍かふえ」でランチを美味しくいただきました。「株式会社 Like Lab」（通東町）では、夏休み中ということもあり、放課後等デイサービスを利用している児童の様子を見学することができました。「特定非営利活動法人 福岡県障害者雇用支援センター あゆむ」（百年公園）では、就労移行支援事業の訓練の様子を見学させていただいたり、一般就労への取り組みについての話を聞いたりすることができました。



■7/27 大野城・春日コース

保護者2名と職員8名が参加しました。「株式会社 障がい者つくし更生会」は、春日市・大野市の委託を受け、不燃性一般廃棄物処理施設の運転管理および、最終処分場の維持管理を行っている会社で、36名の社員のうち、障がいのある人が31名（法定雇用率100%、定着率100%）働かれています。工場内の見学及び専務取締役那波さんより講話をしていただきました。那波さんの「私たちは福祉の専門家から『障がい』について学びながら障がいのある人を雇用してきたわけではなく、一個人・一社員が示す目の前の事実を受け入れ、その理由を丁寧に探ってきた。」「素人でもなんとかなる。」「その人（社員）の存在価値をその人にどのように伝えていくかが大切。」という言葉がとても印象的でした。「社会福祉法人 宰府福祉会 寺内ホーム アンダンテ」は西鉄下大利駅近くにあるグループホームです。グループホームの見学後、世話人の寺内さんの話を聞き、利用者の方の生活や現在の課題について知ることができました。「社会福祉法人 宰府福祉会 障害者支援施設 宰府園」は、生活介護、就労移行支援事業、就労継続支援 B型、施設入所支援、短期入所のサービスを提供しています。施設長の大内田さんやサービス管理責任者の岡田さんから話をしていただきました。本校高等部卒業生で現在生活介護（通所）を利用している伊藤春佳さんとも会うことができました。

【高等部 産業現場等における実習】

今年度は、前期の実習を6月～7月の期間、後期の実習を10月～12月の期間で実施し、4名の生徒が実習を行いました。実習は生徒の実態に応じて2日間～8日間で行い、それぞれの生徒がめあてをもって実習に臨みました。（進路指導主事 古賀）

■長谷部 和 「ひばり～ヒルズ」：6/29～7/1

「ひばり～ヒルズ」（日田市）は、生活介護、施設入所支援、短期入所、日中一時支援のサービスを提供している事業所です。長谷部 和さんは、生活介護で3日間実習を行いました。1日目からスタッフさんや看護師さんに興味津々で、2日目になると、声を掛けてくれるスタッフさんや看護師さんに慣れることができました。利用者さんも、昼休みには長谷部さんが過ごしているベッドの近くへ遊びに来てくれました。

